

# 結城市総合防災訓練でDMATが初参加

## 震度6直下型地震想定し、緊迫した訓練

結城市総合防災訓練が11月26日、市民文化センターアクロス南側駐車場を会場に開かれました。今年、訓練に初めてDMATが参加し、被災者救出後の応急処置や重傷者の緊急搬送など、迫真の訓練が行われました。

26日午前9時に震度6の地震が発生。家屋倒壊や地震によるワゴン車とマイクロバスの交通事故で多数のけが人が出たとの想定で訓練が開始。消防や警察、自衛隊、ボランティア、救助犬など数多くの人が参加。小学生や幼稚園児も大勢見学に訪れました。

訓練では、城西病院のDMATとJRRT（城西病院急変対応チーム）が到着し、消防とともに応急救護所を設置。倒壊家屋から高齢者1人、軽症者1人、交通事故現場から重傷者1人、軽症者8人、アクロス屋上から軽症者1人が救出されると次々に救護所に搬送され、DMATとJRRTが怪我などの状態を確認し、重傷者については防災ヘリなどによる病院搬送を指示するなど、緊迫した訓練が行われました。

会場では、子供たちがDMATなどの活動を目の当たりにして、真剣な表情で訓練の様子を見守っていました。

平成29年11月27日



城西病院のDMATチーム JRRTチーム、消防隊員たち